

# 絵と書で 百人一首 の世界

Through Art and Calligraphy,  
Enter the World of  
Hyakunin Isshu

2026.1.31 sat - 4.12 sun

OPEN 10:00-17:00 (入館は16:30まで)

CLOSED 2.15(sun) 2.17(tue) 3.3(tue) 3.17(tue)

2.14(tue)は14:00閉館 (入館は13:30まで)

主催／嵯峨嵐山文華館

後援／京都府・京都市・京都市教育委員会・京都商工会議所



嵯峨嵐山文華館  
Sagi Arashiyama Museum of Arts and Culture



# 絵と書で樂（む）

## 百人一首の世界

Through Art and Calligraphy, Enter the World of Hyakunin Isshu



伊藤小坡《貝合せの図》(部分) 通期展示

かるたや国語の授業で親しまれている百人一首は、今から八〇〇年近く前の鎌倉時代に誕生しました。藤原定家（一二六一～一三四一）が一〇〇名の歌人による秀歌を撰んだことに由来します。定家の別荘があつたとされる小倉山の麓に位置する当館では、この度百人一首をはじめとする和歌を記した書や歌人を描いた絵画を紹介する企画展を開催します。

本展では、長谷川等伯（一五三九～一六一〇）の弟子、

長谷川宗園（生没年未詳）が歌人を描き、能書家として知られた公家たちが和歌を認めた《百人一首手鑑》を展示します。初公開となる《百人一首画帖》も、歌仙絵の伝統を受け継ぐ江戸時代の優品です。鮮やかな色彩と細緻な描写にご注目ください。

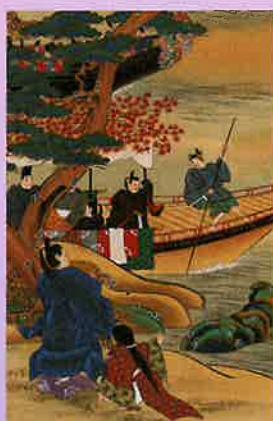
また、百人一首は書としても愛好されてきたことに着目し、定家が筆を執つたと伝えられる《小倉色紙朝はらけ》や、本阿弥光悦（一五五八～一六三七）の流麗な文字が料紙に映える《古今集和歌巻》など書の作品も展示。歌枕（こまくら）に因んだ絵に和歌を添えた円山応挙（一七三三～九五）《富士・吉野・龍田》をはじめ、和歌に関する絵画もご覧いただけます。絵と書が織りなす日本の美をお楽しみください。

2026.1.31 sat - 4.12 sun

OPEN 10:00-17:00(入館は16:30まで) CLOSED 2.15(sun) 2.17(fri) 3.3(tue) 3.17(fri) / 2.14(fri) は14:00閉館(入館は13:30まで)



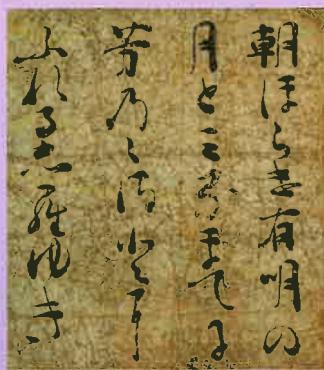
円山応挙《池水図》(部分) 前期展示



土佐光貞《大納言経信》  
三幅対のうち中幅(部分) 通期展示



本阿弥光悦《古今集和歌巻》(部分) 前期展示



佐藤原定家《小倉色紙朝はらけ》 前期展示

## EVENT

2.15(sun)

小倉百人一首 競技かるた  
第7回

ちはやふる小倉山杯

※大会実施のため展示はご覧いただけません

3.21(sat) 13:30-14:30

講演会

「百人一首の歌仙絵を読む」

講師:吉海直人(同志社女子大学名誉教授)  
参加費:無料(入館料のみ)事前予約不要



詳しくは当館HPをご覗ください。

### 入館料

一般・大学生1,000(900)円 / 高校生600(500)円

小中学生400(350)円 隆がい者と介添人1名まで各600(500)円

※( )内は20名以上の団体料金 体験料無料 常設展示「百人一首ヒストリー」をご覗いただけます。

### アクセス

●JRでお越しの場合:山陰本線(嵯峨野線)で嵯峨嵐山駅下車、徒歩14分

●阪急でお越しの場合:嵐山線で嵐山駅下車、徒歩13分

●嵐電(京福電鉄)でお越しの場合:嵐山本線で嵐山駅下車、徒歩5分

※お車でお越しのお客様は、近隣のパーキングをご利用ください。

隆がい者や車椅子の方で駐車場をご利用の場合、事前にご連絡願います。

TEL 075(882)1111



嵯峨嵐山文華館  
Sagi Arashiyama Museum of Art and Culture